

記 者 発 表 資 料
2 0 1 5 年 1 月 7 日
生 涯 学 習 部 図 書 館
町 田 市 民 文 学 館 長 河 井
電 話 0 4 2 - 7 3 9 - 3 4 2 0

町田市民文学館ことばらんど「常盤新平 ー遠いアメリカー展」開催

1994年から2013年に81歳で亡くなるまでを町田市で過ごした、作家、エッセイスト、翻訳家、編集者としての顔をもつ常盤新平(1931-2013)の業績を振り返る、初めての展覧会を開催します。

中学2年のときに仙台で終戦を迎えた常盤は、焼け跡のバラックで雑誌「ライフ」を購入し、アメリカへの憧れを抱くようになりました。早稲田大学では英文学を専攻、アーウィン・ショーの小説に出会い、翻訳家を志すようになります。その後、早川書房で編集者としてアメリカ現代文学やニュー・ジャーナリズムの作品を翻訳していち早く日本に紹介。退社後はフリーの翻訳家として活動するかたわら、エッセイを執筆しました。1987年には、初の自伝的小説『遠いアメリカ』で第96回直木賞を受賞します。

本展では、常盤が憧れたアメリカ、彼をアメリカへと向かわせたものは何であったのかを探りだし、愚直に想いを貫いた一人の作家の生涯と作品をひもときます。



<展覧会概要>

■ 会 期 : 2015年1月17日(土)～3月22日(日)
※ 休館日 : 毎週月曜日、2月12日(木)、3月12日(木)

■ 開催時間 : 午前10時～午後5時

■ 観 覧 料 : 無料

■ 監 修 : 坪内祐三

■ 展示構成

プロローグ 「遠いアメリカ」

I. 作家の原点 II. アメリカ憧憬ー翻訳者・編集者として

III. ときわの流儀ーエッセイ・書評 IV. 片隅の人たちを描くー作家・常盤新平

エピローグ 町田での日々

■ 関連イベント

【対 談】 「ぼくらがアメリカに夢中だったころ」 青山南×川本三郎

【講演会】 「常盤さんの担当編集者だったころ」 坪内祐三

【朗読会】 ① ドリアン助川のトーク×朗読LIVE ー常盤新平篇

② 耳で訪ねるニューヨーク 飯原道代

【文学散歩】 常盤新平の神田界限を歩く

【展示解説】

※ 1月15日(木)午後3時から、報道関係者・展覧会関係者を対象とした内覧会を開催します。